

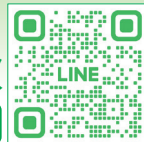
愛媛新聞旅行オススメツアーのご案内

ホームページからも予約受付中!

<https://ehimeshinbunryoko.jp/>

愛媛新聞旅行 検索

LINE
公式アカウント
友だち追加はこちらから
最新ツアーやおすすめの
情報を配信しています。



11/29日 憧れの観光列車「或る列車」を貸し切り!!

安心の
復路・航空機
欠航補償付きプラン

限定1本

JR九州D&S列車 100年の時を超え蘇る、幻の豪華列車

この時期だけの一般公開

紅葉の九年庵と

希望に満ちた昭和30年代にタイムスリップ

豊後高田「昭和の町」

3日間

或る
列車



1906年、当時の「九州鉄道」がアメリカのブリル社に豪華客車を発注したものの、「九州鉄道」が国有化されたため、活躍する機会がなかった「九州鉄道ブリル客車」、通称「或る列車」。当時の日本で最も豪華な設備を備えていたといわれる“幻”の豪華客車が2015年、九州に蘇りました。



車内での昼食は九州の厳選した旬の食材を中心に、世界的評価の高い成澤由浩シェフがプロデュースしたコースです。



紅葉に染まるモミジと苔庭、数寄屋造りの建物が織りなす秋だけの絶景



©福岡県観光連盟

宗像大社

日本神話に登場する日本最古の神社のひとつ。2017年7月、世界文化遺産に登録されました。

豊後高田 昭和の町
ちょっと懐かしくて、ノスタルジック



玄海さつき温泉



国宝の大堂は日本三阿弥陀堂のひとつ

1日目 玄海さつき温泉
メルキュール福岡宗像リゾート&スパ



●お部屋・和室・洋室1〜4名
●夕食・和洋ビュッフェ、朝食・和洋ビュッフェ

2日目 別府・日出温泉
グランドメルキュール別府湾リゾート&スパ



●お部屋・和室・洋室1〜4名
●夕食・和洋ビュッフェ、朝食・和洋ビュッフェ

旅行代金 (大人お一人さま)

出発日	3〜4名1室	2名1室	1名1室
11/29(日)	137,800円	139,800円	156,800円

■入場観光 ●下車観光 ●食事・ショッピング……徒歩 行程内の時間は目安です コース番号 D9A036

1 11/29 (日)	松山空港 (10:30発) JAL (11:20着) 福岡空港 = ◎昼食: 日本食ランチ (紅葉時期に16日間のみ一般公開、国の名勝) ■ 九年庵 (17:45ごろ着) 玄海さつき温泉 (泊) ☒ 昼 ☒ 夜
2 11/30 (月)	ホテル (8:00発) = ●宗像大社 = 博多駅 (10:58ごろ着) = ◎豪華列車「或る列車」貸切乗車・◎昼食: 列車内でコース料理ランチ (フーラルヴィレッジ・湯の坪街道・金鱗湖など) (14:08ごろ着) 由布院駅 = ●湯布院の町自由散策 (約100分) 城島高原 (車窓) = やまなみハイウェイ (16:50ごろ着) 別府・日出温泉 (泊) ☒ 朝 ☒ 昼 ☒ 夜
3 12/1 (火)	ホテル (8:30発) = ●両子寺 = ●富貴寺 (開山1300年六郷山総持寺) (現存する九州最古の木造建築) ■ 豊後高田「昭和の町」 (散策と昭和ロマン蔵)・懐かしいボンネット (国東半島の景勝地) (レストラン旬彩南蔵) バスで「真玉海洋」ドライブ・◎ 昼食: 箱膳 彩花 = 福岡空港 (19:05発) JAL (19:50着) 松山空港 ☒ 朝 ☒ 昼 ☒ 夜

■最少催行人員/15名 ■利用航空会社/JAL ■利用予定バス会社/西鉄観光バス ■添乗員/同行 ■バスガイド/乗車 ●食物アレルギーのあるお客さまはお申し出ください。アレルギー以外には対応いたしかねますので、ご了承ください (対応不可の施設もございますのでご了承ください)。「或る列車」については、アレルギー対応はいたしかねます。※紅葉の時期は自然現象のため、必ず見ごろにご覧いただけるとは限りません。あらかじめご了承ください。

復路・航空機欠航補償付きプラン 出発日の14日前までにご予約が完了しているお客さまが対象です。

利用予定航空便が航空会社の責とならない事由 (天候や偶発的な事由) により欠航・着陸地の変更または遅延となり費用支払 (注1) を余儀なくされた場合、限度額の範囲内 (注2) で費用を補償いたします。

(注1) 追加宿泊費用 / 追加交通費 / 追加食事費用が対象 (注2) 限度額は上記対象客数の合計40,000円まで。限度額を超える費用はお客様ご負担となります。

見どころピックアップ

ちょっぴり懐かしくて、ノスタルジック

豊後高田 昭和の町



駄菓子屋の夢博物館

小宮裕宣館長所蔵、駄菓子屋のおもちゃ6万点を公開。所狭しと飾られ、まさに“夢”いっぱいの博物館。



昭和の夢町三丁目館



ボードゲームやテレビゲームなど昭和の遊びを体験できる。



木造校舎の教室や駄菓子屋など、昭和30年代（一部は40年代）の風景が広がっています。

昭和の面影が散りばめられた博物館 昭和ロマン蔵

明治から昭和にかけて富を築いた野村財閥が、米蔵として建てた旧高田農業倉庫を改装。



忘れかけていたあの頃に、おかえりなさい。
昭和32年式のボンネットバスが目曜、祝日に無料で昭和の町を周遊。
車掌の独特のガイドで車内は笑い声が響き渡ります。



町歩きご案内人さん
方言を使って町の歴史や商人の楽しいエピソードを語ってくれます。



懐かしさと
温かさが交差する

現存する昭和の建物はそのままに、昭和30年代の様子をより忠実に再現。古き良き昭和の面影が残るこのまちには、人々の記憶に眠る懐かしくて温かい心を呼び起こしてくれます。



豊後高田
昭和の町の詳細は、こちらからもご覧いただけます。

レストラン旬彩南蔵

昭和初期の木造の米蔵をベースに、現代風にアレンジしたモダンな空間のレストランで昼食をお楽しみください。

